

（ 終戦から75年 ）

# 戦災の記憶、風化させないために

今年、終戦75年の節目の年に当たります。市では、戦災の記憶を風化させないよう、平和の尊さや命の大切さを次の世代へ伝えるため平和について考える取組を毎年実施しています。

今を生きる子どもたちの世代が平和に暮らせるよう、平和のバトンを繋いでいくため、私たちが今何をすべきか、一緒に考えてみませんか。  
問合せ 文化・国際課  
内線595



兵用外套の前身頃の内側には、氏名と軍の入籍番号の記載がある。



写真左：兵用外套 写真右：軍靴  
(有馬義明さん寄贈)  
どちらも、硫黄島で戦死した有馬元明さんの遺品で、平成27年の遺骨収集活動の際に発見されたもの。有馬さんは大子町出身で、日立市内で反物の行商をしていた。

【資料写真提供】日立市郷土博物館

太平洋戦争末期の1945（昭和20）年、日立市は軍需工場地帯ということもあり、他の地方都市には例のない、連合軍からの大規模攻撃を受けました。

## 日立市が受けた戦災

### 7月17日深夜 艦砲射撃

米軍第3艦隊の戦艦など16隻が日立沖に現れ、20分余りにわたって艦砲射撃を行いました。日立工場（山手工場）、電線工場、多賀工場、日立鉦山の精錬所に向けられた砲撃は、悪天候のため砲弾の大部分が市街地で炸裂し、民家に多くの被害が出ました。

また、櫛形村（現十王町）においては、7月17日午後11時過ぎ、高萩沖海岸からの艦砲射撃を受け、村内に着弾、死傷者が出ました。



破壊された日製多賀工場  
写真：日製多賀工場提供

### 6月10日 1トン爆弾攻撃

日立製作所日立工場（海岸工場）に向けて、100機を超える米軍機B29から1トン爆弾の攻撃を受けました。508発（米軍記録では806発）もの1トン爆弾は、日立工場（海岸工場）と工場周辺の相賀町などに投下され、従業員と一般市民合わせて886人が亡くなりました。



爆撃の様子  
写真：工藤洋三さん提供

## 第34回日立市平和展

**とき** 8月1日(土)から15日(土)まで  
午前10時～午後6時(15日は午後4時まで)

**ところ** 日立シビックセンター1階ギャラリー

**内容** 「自分たちの身近な地域で起きた戦災」をテーマに、日立市の戦災の状況や戦前から戦時中にかけての生活の様子などの写真パネルや、実物資料の展示を行います。

**問合せ** 文化・国際課 内線 595



①：もんぺ（鯉淵節子さん寄贈） ②③④：順に日米英軍用機識別図表、川尻監視哨勤務日誌、『各国軍用機識別図表 アメリカ篇』（柴田ひで子さん寄贈） ⑤『戦時防空読本』（長山貞之さん寄贈）

## 戦争と平和を考える子どもの本展

**とき** 8月1日(土)～15日(土)

**ところ** 記念・多賀・十王・南部図書館

**内容** 戦争と平和をテーマにした本の展示と貸し出し、リストの配布、日立の戦時中の写真パネル（記念・多賀図書館のみ）などの展示

**問合せ**

記念図書館 TEL 24-7714

多賀図書館 TEL 33-2655

十王図書館 TEL 20-2345

南部図書館 TEL 29-1125



昨年の様子

## 市役所に平和啓発看板を設置

日立市は、核兵器の廃絶と人類永久の平和を願って、昭和60年12月24日に「核兵器廃絶・平和都市宣言」をしました。このたび、平和への願いを次世代に伝えていくため、市役所敷地内（レストラン向かい）に「核兵器廃絶・平和都市宣言」の啓発看板を設置しました。これは、日立シビックセンター新都市広場と常陸多賀駅ロータリーに設置している看板と同じものです。ぜひご覧いただき、平和について、思いを馳せてみてください。



市役所敷地内に設置した平和啓発看板

## 【戦災による被害の状況】

	旧日立市	旧多賀町	合計
死者	1,354人	185人	1,539人
行方不明者	38人	—	38人
罹災戸数	14,740戸	585戸	15,325戸
罹災者	73,028人	2,622人	75,650人

\*昭和20年6～7月の三度にわたる大規模攻撃による被害

このほか、7月19日の攻撃で、旧豊浦町で死者12人、全焼家屋434戸、旧久慈町で死者14人、旧日高村で死者7人、旧坂本村で死者6人の犠牲者と被害がありました（資料・出典「日立戦災史」「図説十王町史」）。

## 7月19日深夜 しょういだん 焼夷弾攻撃

127機の米軍機B29が市街地に向けて13,900発もの焼夷弾を無差別に投下しました。まちは火の海に包まれ、旧日立市の市街地の6割以上が焼失しました。

また、焼夷弾攻撃は、日立から北上する形で行われ、小木津、川尻、伊師浜、伊師町、磯原、高萩の順に投弾されました。



焼野原になった市街地  
写真：電線工場提供